

愛知中央鉄道計画と沿線開発

——戦前期の愛知県における未成線——

早川大介（愛知大学経済学部）



付記

本研究は、2022年度の愛知大学中部地方産業研究所「地域・産業・大学」の助成を受けた。

なお、未定稿につき引用はご遠慮ください。

目次

はじめに

- 1 愛知中央鉄道株式会社の設立
- 2 松本繁一と松和花壇
- 3 資金調達難から免許返上へ

おわりに

はじめに

- ・愛知中央鉄道（当初、愛知中央電気鉄道）
本線：品野・瀬戸→高針・島田→名古屋港
支線：猪高→覚王山

…1925年1月免許申請

1927年10月会社設立（資本金300万円）

1936年3月免許返上

➡工事は行われず免許返上＝いわゆる「未成線」

先行研究

- ・ 愛知中央鉄道に関して

沿線予定地の自治体史に計画の記述が確認（瀬戸市史・日進町誌）

沿線予定地の地域史研究（小林元）

- ・ 未成線研究に関して

森口誠之の研究（鉄道省文書のデータベースと個別ケースの紹介）

本研究の意義と視点

- ・ 未成線研究の意義

「開業には至らなかったものの、それらの鉄道計画は対象地域内のかつての交通需要を押し量る上で一つの指標になろう」（三木理史（2004）37頁）

➡愛知中央鉄道計画に加えて取締役松本繁一（筆頭株主）による沿線開発（愛知郡天白村（現在の名古屋市天白区）の別荘地「松和花壇」）を考察。

1 愛知中央鉄道の設立

- ・ 愛知中央鉄道目論見書

事業目的

①瀬戸電鉄の輸送力の限界を補う（瀬戸から東海道本線・伊勢湾海上交通への接続）

②砂利・亜炭等が豊富に存在する尾張東部からの輸送を円滑にし、地域産業開発に貢献する。

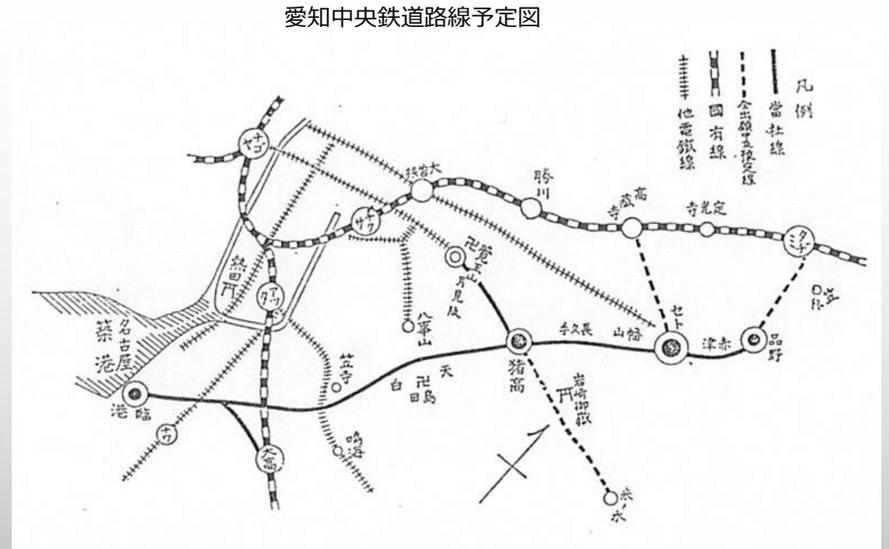
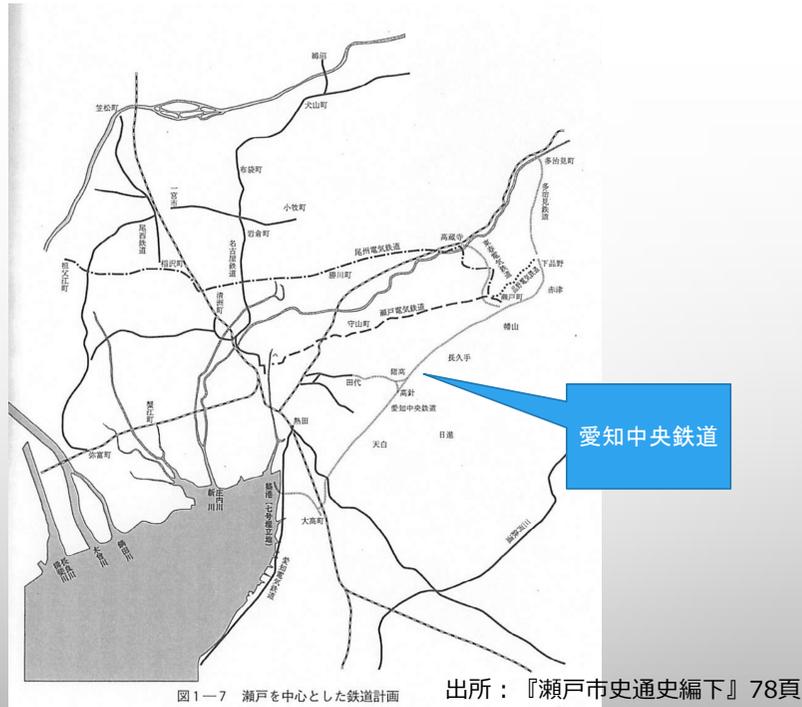
③長久手古戦場・覚王山日暹寺・知多半島の海水浴場などの観光地・遊覧地を結ぶ路線の形成。

④沿線地方を住宅地・別荘地として開発。

愛知中央鉄道役員（1927年末）

役職	氏名	住所	その他
社長	田中善立	名古屋市中区	
専務取締役	富永謙治	東京府代々木富ヶ谷	西武興業取締役
常務取締役	松本繁一	三重県桑名郡桑名町	名古屋新世界取締役・鳴海土地監査役
取締役	松澤清次郎	春日井郡山田村	名古屋新世界取締役・名古屋米穀取引所理事
取締役	近藤勝太郎	名古屋市東区	
取締役	加藤久太郎	愛知郡猪高村	大日本麦酒取締役・南洋貿易信用取締役
取締役	荒川伸也	名古屋市中区	
監査役	伊藤豊太郎	愛知郡幡山村	
監査役	山田直哉	名古屋市東区	
監査役	青山亮	愛知郡長久手村	

出所：『銀行会社要録（第32版）』



2 松本繁一と松和花壇

・松本繁一（1890年生）

松本長蔵（米穀仲買商・三重県桑名郡大山田村長・三重県多額納税者）の長男。

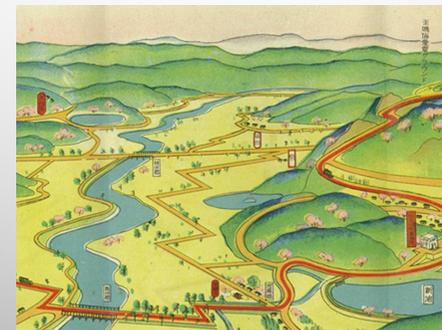
自転車製造業、桑名米穀取引所仲買人を経て株式取引で成功。

→地元桑名に加えて名古屋で土地経営に乗り出す。1920年代半ばより天白村に別荘地「松和花壇」を計画。

松本繁一の計画

・松本繁一…愛知中央鉄道の筆頭株主（2000株所有）

→「松和花壇」＝瀬戸から名古屋港への鉄道沿線の開発として実施。



愛知中央鉄道の貸借対照表

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
	1928年4月30日	1928年10月31日	1929年4月30日	1930年10月31日	1930年4月30日	1930年10月31日	1931年4月30日
払込未済資本金	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,449,290	2,447,125	2,411,195	2,408,145
建設費	73,268	255,878	282,873	313,089	349,210	384,784	410,952
仮出金	540	3,595	7,648	47,907	31,598	53,793	66,654
預け金	239789	53,220	10,818	191,202	158,862	159,150	121,603
現金	206	197	133	396	205	510	191
合計	3,013,804	3,012,891	3,001,473	3,001,886	3,007,002	3,009,434	3,007,547
資本金	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
未払配当金	8047	731	1,188	1,237	3,512	2,090	977
当期利益金	5756	2159	284	649	3,490	7,344	3,710

出所:『官報』

おわりに

- ・不況期にあたり、愛知中央鉄道計画は挫折。
- ・別荘地開発は一応の成果を見るものの、戦争で中断。
- ・本格的な名古屋市東部の開発は、第二次世界大戦後。
- ・登記簿・地図・新聞報道等の調査は今後の課題。

愛知興業役員（1935年末）

役職	氏名	住所	その他
代表取締役	八木保三	名古屋市東区	帝国織布代表取締役・日満商工代表取締役 役・日満緬羊拓殖取締役・名古屋酸素監査役
取締役	中野勇平	東京市淀橋区	
取締役	松澤清次郎	春日井郡山田村	名古屋新世界取締役・名古屋米穀取引所理事
監査役	荒川伸也	名古屋市中区	
監査役	伊藤豊太郎	愛知郡幡山村	

出所:『銀行会社要録（第40版）』

参考文献

- 文献
 - ・片木篤他編『近代日本の郊外住宅地』鹿島出版会、2000年
 - ・小林元『猪高村物語』愛知県郷土資料刊行会、1988年
 - ・三木理史『近・現代交通史調査ハンドブック』古今書院、2004年
 - ・森口誠之『鉄道未成線を歩く（私鉄編）』JTB、2001年
 - ・森口誠之『開封！鉄道秘史 未成線の謎』河出書房新社、2022年
- 自治体史
 - ・『瀬戸市史 通史編下』2010年
 - ・『天白村誌』1956年
 - ・『愛知県日進町誌 本文編』1983年
- 史料
 - ・愛知中央電気関係史料（国立公文書館所蔵）
 - ・愛知中央電気鉄道関係資料（国立公文書館所蔵）
 - ・松和花壇パンフレット『大衆の別天地 御案内』・『土地と利殖』（報告者所蔵）